

重点目標

「よくきき よく考えよう」

ミッション

「対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばす」



2024 ご理解ご協力 ありがとうございます！

2024 年がまもなく終わります。保護者の皆様には、朝の交通指導や奉仕作業など、PTA 活動にご協力いただき、ありがとうございました。お陰様で子供たちは事故なく元気に登校し、きれいになったグラウンドで業間や昼休みに楽しく遊んでいます。また、皆様のご支援に支えられ、県小教研家庭科学研究大会、原町区小高区小中音楽祭、石二っこ学習発表会、体験活動などの行事をつつがなく終えることができました。子供たちも、それぞれの目標を達成しようと力を合わせて取り組んでいました。これも PTA 役員をはじめ、保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげです。重ねて感謝申し上げます。

来年も一人一人が様々なことにチャレンジできるよう支援、指導していきます。どうぞよろしくお願いします。

学校評価 速報！



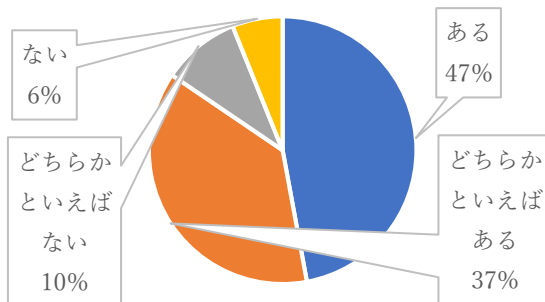
お忙しい中、学校評価に回答していただきありがとうございました。右のグラフは「子供たちによいところがありますか」についての結果です。上は児童の回答、下は児保護者の回答です。子供たちの16%、保護者の25%は「ない・わかっていない」「どちらかといえば、ない・わかっていない」です。よいところをほめながら、もっともっと自己肯定を高めていきたいと思えます。

先日、南相馬市教育委員会主催の家庭教育大学公開講座に参加し、宮城学院女子大学の梅田真理教授の講演「気になる子どもの理解と支援」を拝聴しました。梅田教授は、子供の得意・不得意を知ること、そして手伝いや日常生活の中でできそうなことを探してチャレンジさせることが大切とおっしゃっていました。洗濯ができる、食器が洗える、ご飯が炊ける、虫が好きなど、得意なことは人それぞれ違い、いろいろな得意があつていいとのこと。苦手なことは少しずつしか伸びないことも知っておくことが大切だそうです。

この冬休み、いろいろなことにチャレンジさせ、得意なところを見つけ、たくさんほめてほしいと思えます。

児童

自分には、よいところがありますか。



保護者

お子さんは、自分のよいところがわかっていますか。

